

『スキだらけの AFF』 裏 FF 用語の基礎知識 儀無裏人

序文

この記事は、ファイティングファンタジー、あるいはアドバンスト・ファイティング・ファンタジー用語を非公式かつ広く通用する語彙ではない内輪向けジャーゴンも含め、広範囲拾遺し、五十音順に並べた。句語を無理矢理追加し、趣旨が変わっているように見える項目も多々あるが興に乗り過ぎた所有者の悪乗りには他ならない、御寛恕頂きたい。

蛇足ながら念を押しておくが、内容は歴戦の強者には須臾も参考にもならないし、初心者は虚偽、誤報、取り違え、騙り等、タイタン世界には「騙される方が悪い」という非情な掟があることを重々承知の上でフォーガの慈悲心を持ってご笑覧いただきたいと切に願う。

面倒くさいので、項目中はファイティングファンタジーは FF、アドバンスト・ファイティング・ファンタジーは AFF と略す。

全ての文責は儀無裏人にある。機会を与えて頂いた本誌主幹、武延工助氏と関係者の皆様に感謝したい。

締切過ぎた寝不足気味の寒い日に 八幡国の南の辺境筑州に在す在野の酔狂人 儀無裏人 (@gymrit)



あ行

あ

アーロック (あーろっく)

社会思想社で邦訳された FF シリーズ最終巻「天空要塞アーロック」の取引価格に由来する古書の価格を示す単位。1 アーロックは 2023 年 5 月 1 日現在約 60 万八幡国エン。

通信販売やネットオークション等で、内容に見合う価格でないが希少さ故に業者により値付けが高騰したものを皮肉混じりで形容する際にも使用する。

赤目 (あかめ)

スティーブ・ジャクソン「ソーサリー」シリーズに登場する種族名。レッド・アイとも表記する。本項では、白土三平「カムイ伝」のカムイの忍びとしての師匠については説明しない。

檻褻に瘦せぎすで、一見弱そうだが、眼から熱線を放つ特殊能力を持った、タイタン世界でも怒らせたら怖い種族の一つ。人に迫害され流浪しているため、友好ではない者が多い。遭遇した際は注意が必要。

徹夜でゲームを遊んだプレイヤーがリアルで受ける代償としての状態異常。

浅羽莢子 (あさばさやこ)

E・R・トールキン「指輪物語」の瀬田貞二的な、出来得る限り本邦の語彙に訳す方針のミステリやファンタジィにおいては著名な翻訳家。故人。

社会思想社版「モンスター辞典」、創土社版「ソーサリー」のモンスター名が独自センスなことで当時の読者に少なからず衝撃を与えた。

アズール卿(あずーるきょう)

イアン・リビングストン「盗賊都市」こと悪徳の湾口都市ポート・ブラックサンドの支配者。貴族というよりは黒社会の大顔役という雰囲気キャラクター。

ラスボスよりも、存在感と実力があるキャラクターを指す。逆に存在感が薄い悪役を指す言葉は「ザンバー骨っち」「雪のオババ」。

熱いレビュー(あつうれびゅう)

ゲームブック関連を語るライターの初心者向けと言いながら、思い入れと嬉しさが横溢していて、読み進めるとだんだんとお里が知れて口もとが思わず綻びだすサイトや雑誌のテキスト。心の中の「イイネ」ボタンを連打したくなるレビュー記事のこと。

あるじ(あるじ)

スティーブ・ジャクソン(米)「サソリ沼の迷路」の親分キャラクターたち。マスターの直訳と思われるが、「かえるのあるじ」等、独特の牧歌的な雰囲気で捨てがたい味のある訳語。

辮髪風の髪型で髭を生やした無類に徒手格闘技が強すぎる「東方のあるじ」はいないので安心して良い。

あんた背中が煤けてるぜ(あんたせなかがすすけてるぜ)

麻雀漫画、能條純一「哭きの竜」の名言。簡単な運試しに失敗した時に同卓の猫背で俯いた人から、冷たく浴びせられがちな言葉。

い

イージーモード(いーじーもーど)

戦闘をパスし自動勝利、運試しも自動成功ですすめるゲームブックのプレイスタイル。

ストーリーを重視してサクサク進めたいだけで、ズルじゃないです。本当です信じてください。

癒やし手 (いやして)

イアン・リビングストン「雪の魔女の洞窟」が初出の呪術系魔術師というアランシアでは珍しいキャラクター。

クセが強いアランシア善玉三大魔術師の中では一番温厚そう。隠者になる原因となったニカデマスは責任を持って助けたれよ、と誰しも思う不遇な存在。

岩ウジ (いわうじ)

浅羽莢子訳の一つ。確かに直訳はそうかもしれんが…系のモンスター名。

いくさ人 (いくさにん)

隆慶一郎「一夢庵風流記」や原作とする漫画「花の慶次」が出典。普段はパツとしないが、ウォーモンガーやバーサーカー等と同じく戦闘の際はイキイキしだすロールプレイスタイルを指す。

異能者 (いのうしゃ)

ものすごく低い成功確率の運試しを難なくクリアしたり、自分より技術点がはるかに高い敵を死にかけながらも倒してしまうキャラクターのこと。高橋良輔監督のロボットアニメ「装甲騎兵ボトムズ」の主人公キリコが畏怖を込めて劇中呼ばれる異名が出典。

ただし大抵の場合、次回はあっけなく即死したりするので総じてたまたまラッキーマンな偽物が多い。遺伝確率 250 億分の 1 の異能生存体は伊達じゃない。



う

ウォーロック (うおーろっく)

かつて社会思想社が発行していた伝説の雑誌。初期は本当に「ゲームブック専門誌」であった。広告が少ないことでページ数は薄い但内容は濃く、社会思想社の書籍特有の地味で質実なレイアウトが今読んでも一定の格調を感じさせる。

ゲームブック冬の時代後は、次第に社会思想社の発売する TRPG のサポート誌へ変貌していくのも時代の流れで、海外の本家ウォーロックが 13 号で終わったにも関わらず、月刊で日本版が 63 号まで続いたという記録は、思い返しても超ニッチな趣味の雑誌として偉業だと思う。

後継として版元を変え「ウォーロック・マガジン」「GM ウォーロック」が発刊され、精神的な血脈は今も続いている。

うじ虫野郎 (うじむしやろう)

イアン・リビングストン「死のワナの地下迷宮」主催の人望と徳が篤いサカムビット公の別名。

え

衛兵 (えいへい)

タイタン世界では、ベセスダ・ソフトウェアスの RPG 「The Elder Scrolls V: Skyrim」の衛兵のように偏屈な「膝に矢を受けて引退した冒険者」ではなく、大抵は鼻薬が効いて融通をきかせてくれるお金大好きなだけで親切な人たち。

エール (えーる)

ゲームブック読者が大人になったらとりあえず呑んでみたくなるハチミツ酒と並ぶアルコール飲料の一つ。

エラッタ (えらった)

今はサポートサイトで公開されているので無用な混乱は最小限で済むが、昔は正誤表は次巻か、サポート誌を買うしか知るすべはなく、秘伝の教えに近い。

円盤人 (えんばんじん)

スティーブ・ジャクソン「バルサスの要塞」の中でもユニークさと愛らしさが際立っていて凶暴ながら人気の種族。

エルリック (エルリック)

マイクル・ムアコックのエターナル・チャンピオンシリーズの英雄の顕現、メルニボネのエルリック。

魔法戦士のロールプレイのアーキタイプ。天野喜孝バージョンだと長い白髪に紅い眼の美形、曰く付きの魔法剣を所持し、守護魔神の召喚能力、亡国の王、うっかりさん、高貴な出、虚弱など厨二要素満載で、真似るには色んな意味で覚悟が必要なキャラクター。

お

王様 (おうさま)

大抵の RPG でかくあるように、タイタン世界でも何もしないくせに、おしなべてケチ、やっぱりケチ、あらためて思い直してもケチな貴種。だいたい本性は大人げない性格。

お土産 (おみやげ)

冒険の土産は、無事故でいいの、お父さん。

おしまい (おしまい)

スティーブ・ジャクソン「バルサスの要塞」での優しげだが、任務失敗をきっぱり伝える文言。

大人の事情 (おとなのじじょう)

モンスター名や種族名がエディションで変わったり、続編が出なくなったり、ルールが改定されたりしたときに感じる上位神の采配と御心。

タイタン世界には余り感じないが、TRPG ではよくあるので留意されたし。

か行

か

カーレ (かーれ)

スティーブ・ジャクソン「ソーサリー」シリーズ2作目の舞台。シティアドベンチャーというにはあまりに危険な西のポートブラックサンド、東のカーレと称される、「最初の街」。

悪徳と野心、頹廢と混沌とを魔法の渦にかけてブチまけた、ここはタイタン世界のゴモラ。来週も「あなた」と一緒に地獄に付き合ってもらおう。

フロムソフトウェアのRPG「ELDEN RING」で、最初に出会う流浪商人の名がカーレでニヤリとした人多数。

買い支える (かいささえる)

趣味の分野においてはヘビーユーザには必要な行為。但し、買い支える層のみに向けた商法だと、心得として、何れ行き詰まるので、応援する、可能な限り買う、さり気なく布教する、節度を持った意見を言うまでに留めるべき。

ガスコイン神父 (がすこいんしんぷ)

ゲームブック「最後の戦士」作者でAFF第1版作者であるマーク・ガスコインの名前を引用したと思しき、フロムソフトウェア開発、ソニーコンピュータエンターテインメント販売のRPG「Bloodborne」の最初の壁的なボスキャラクター。

フロムソフトウェアの宮崎英高氏はゲームブックの影響も公言しているので、あながち見当違いではなさそう。ガスコインという姓は語源としてはシラノ・ド・ベルジュラックやダルタニアン縁の地として有名なフランスのガスコニュ由来らしい。

マーク・ガスコインは FF および AFF への貢献度から言ってもゲームブック界のリン・カーターというポジションのイメージがある。

ガチンコ (がちんこ)

元々は相撲やプロレスの取り決めなしの真剣勝負を意味する隠語。ゲームでは、ローグライクゲームのベルリン解釈のパーマデスを遵守し、まったなし、死んだら頭からやり直しを行うプレイスタイルを指す。

スティーブ・ジャクソンの壮大な 4 部作「ソーサリー」で、どの巻で力尽きようが、1 巻目からやり直すが真の漢でガチンコの極みとされる。

かぶき者 (かぶきもの)

隆慶一郎「一夢庵風流記」や原作とする漫画「花の慶次」が語源。損得よりも、こだわり、独自の価値観を貫くロールプレイスタイルを指す。極めるとヒーローが原哲夫作画の「漢の顔」に見えてくると言われている。

ガンジー (がんじー)

スティーブ・ジャクソン「バルサスの要塞」に登場した当社調べトラウマモンスター 1 位。

対策なしに遭遇すると無抵抗で…になるのはネーミング的に皮肉さは意図したものかは定かではない。

革鎧 (かわよろい)

レザーアーマーの訳語。「だんびらと革鎧」みたいな表現は近年見ないので黎明期の風情を感じる。

き

機 (き)

昔のゲーマーに多い、自キャラクターを数える単位。

「もう、このゲームでは3機目だよお～」のように使う。アーケードのシューティングゲームの操作する機体のカウント単位から由来。

技術点 (ぎじゅてん)

人なら初期値 12 が最強。13 以上は基本、チーター。

振り直しなしで、あえて低い技術点で挑むほうが勇者だと思ふ次第。

ステ振り直し可能は3回というハウスルールで救済されがち。

君 (きみ)

知られざる英雄にして大いなる略奪者で、諦めなければ何度でも蘇り、冒険にチャレンジする貴方のこと。

ギャバンダイナミック (ぎゃばんだいなみっく)

特撮ヒーロードラマ「宇宙刑事ギャバン」の主題歌のように、男なので振り向かず躊躇わない、グイグイ進む脳筋なプレイスタイルを指す様。

貴族 (きぞく)

タイタン世界では、地方豪族というよりも、遊興というにはあまりに趣味が悪い所業や政争に明け暮れるだけの富裕で退廃的なろくでなしが多い。

ノーブレス・オブリージュなんて知らんがな的な偉いさん。爵位自体の典拠が門閥によるのかすら謎で、稀にいるイイ人に限って政治力や武力がない零落した数少ない名門タイプだったりする。

キレやすい (きれやすい)

タイタン世界の老若男女、大抵の人が持つ鎌倉武士のような気質。

金貨 (きんか)

簡略化するためとはいえ、すべてを金貨で支払う物価の高さとインフレ度合いがタイタン世界。

く

クリップアート (くりっぷあーと)

パラグラフ間の少し不気味な味のあるイラスト。

ゲームブックならではの要素の一つで、冒険を記録した羊皮紙の古書の趣を感じさせる装飾。

クール (くーる)

ガスコイン若頭のクンロクでは「アランシアと旧世界はリヴィングストーン、ジャクソン御大の縄張り (シマ) じゃけん、その他の新参モンはクールがシマっちゅうことにしとくんが、ものの道理じゃけん。のう。」ということ。

クーガ神 (くーがしん)

ゲームブック読者が慣用句のように「クーガの慈悲とフォーガの誇りで」でおぼえている神格の石柱。

け

経験によるバフ (けいけんによるばふ)

遊びすぎて本にクセがつき、本の上部に印刷されたサイコロを参照するため頁をめくることに、ランダム性がなくなり良い出目が増えること。

こ

声が池田秀一 (こえが いけだしゅういち)

美男でスキルが高く有能で沈着冷静、余裕綽々だが、なぜか土壇場で裏切ったり、勝ち運がなさそうな予感のするイイ声にも程があるキャラクターの様。

類似な例に「声が塩沢兼人」「声が速水奨」がある。

ココモコア(こもこあ)

名前の響きは株式会社サンリオのキャラクターのように可愛いが、沼地に棲む凶悪な種族の一つ。

呉先生(ごせんせい)

中国四大奇書「水滸伝」に登場する梁山泊の軍師、智多星呉用の別名。今川泰宏監督の「ジャイアントロボ THE ANIMATION -地球が静止する日」にスターシステムで登場した。理知的なキレ者に見えて、取りあえず嘆きまくり後悔しまくるだけで、あまり現状改善に貢献しない傍観者的な参謀系のロールプレイスタイルを揶揄して使う。

コナン(こなん)

ロバート・E・ハワードの世界で一番著名なヒロイックファンタジシリーズの主人公キンメリアのコナン。本項では、体は子供な人や著名な歴史学者やシャーロック・ホームズの生みの親は扱わない。

実は今読むと、言うほど野蛮でも粗野でも好色でもない。ただ単純に文明国の偽善的なマナーや法に重きを置かず手っ取り早く解決手段を行使しがちなだけ。

ベタすぎて直接真似る人は今は少ないが、全ての半裸長髪脳筋戦士ロールプレイのアーキタイプであり、後世のヒロイックファンタジおよび RPG へも影響は半端ないのは言うまでもない。

ゴンチョン(ごんちょん)

イアン・リビングストン「トカゲ王の島」に登場した権藤さんや権田さんのアイドル的愛称みたいな名の響きの、宿主乗っ取り型なボスモンスター。

強殖装甲でも来訪者でもない。ゴンコーンという表記もあるが愛らしさが薄れる感じがする。

さ行

さ

さあ、ページをめくりたまえ (さあ、ページをめくりたまえ)

いい年した大人の童心を一瞬で呼び起こす、どこか上から目線の魔法の文言。

対極に位置する文言は「きみの冒険はここで終わった」。

さあ、
ページをめくり
たまえ

サイコロ (さいころ)

単なるアナログな乱数生成機のはずが、集めたり凝りだすと際限なく増えていく魔法のアーティファクト。

実用重視で1セットあれば事足りる筈なのに、どんどん増えていく様は、より良いものを求めるという口実で横道に逸れていくコンピュータのキーボード・マウス沼に似ている。

サイ男 (さいおとこ)

リノマン。スティーブ・ジャクソン「バルサスの要塞」に登場した、一見ゆるキャラっぽいのが、「トロール牙峠戦争」で重装歩兵として実は精強であることが判明した種族。FFのSLGがあれば前衛で使いたいユニット候補。

サイトマスター (さいとますたー)

スティーブ・ジャクソン「ソーサリー」に登場する頭抜けた視力を持つ種族。浅羽英子訳では「物見」。Webサイトの管理者ではない。

筆者は挿絵が特徴的なものを見落として、「サイトマスター」は称号みたいなもので長らく種族ではないと勘違いしていた。

挿絵 (さしえ)

ラス・ニコルソンが描いた汚穢と混沌に満ちたイマジネイティブなスティーブ・ジャクソン、イアン・リビングストン「火吹山の魔法使い」の装画は、ファンタジーというには生々しくダークで美しく眺めるだけで、恐る恐る頁を捲る冒険気分が味わえてドキドキでした。

挿絵アイテムのジレンマ (さしえあいてむのじれんま)

ゲームブックをプレイしていて、細密で魅力的な描き込みの挿絵を見たときに、何であのアイテムは入手できるのか、と思えてしまう現象。

佐藤大輔 (さとうだいすけ)

ゲームデザイナー、作家。「レッドサンブラッククロス」「皇国の守護者」シリーズで著名。FFシリーズではないが、宮崎駿の映画をゲームブック化した「天空の城ラピュタ」を書いていることは作風とは真逆であり知られていない。

更に余談になるが「虚栄の掟」はゲーム業界関連のミステリ。TRPG から市場のメインを取って替わられた立場のボードシミュレーションゲームの制作者の立場で、TRPG について、ちらりと言及しているので諧謔と皮肉の佐藤節が肌に合うなら一読をオススメ。

ザビタンの裏切り (ざびたんのうらぎり)

特撮ヒーロードラマ「アクマイザー3」のサブタイトルに由来する、仲間と思っていたキャラクターに裏切られたときにセッション中、思わず発してしまう言葉。「なぜだ！ザビタンの裏切り」が正式で、ザビタンは人間を救うため、仕方なくアクマ族を裏切ったので許してあげたいが、セッション中の裏切りは余程のファミファタールの美女でない限り許せない。

し

私家版 (しかばん)

ゲームブック冬の時代は私家版で訳され同人誌として、頒布されたものが多かったが、地方在住者は入手が難しく残念無念であった。

今は「薄い本」として通販で買えるものや電子書籍化されているものがあるが、それでも入手できるか否かは基本、一期一会である。迷わず買えよ、買えばわかるさをモットーとすべし。

地獄の館 (じごくのやかた)

FFシリーズでも、異色な現代を舞台にした館ホラー。さすがスティーブ・ジャクソンという難易度で、とにかく怖い。まだホラーというジャンルを知るまえに、これで洗礼を受けると、苦手になるか、どっぷりハマるかは蓄積した恐怖点次第。

邪悪 (じゃあく)

タイタン世界で生き抜くために、ほぼ必須とされる資質。

社会思想社 (しゃかいしそうしゃ)

元々は、社名通り人文・社会系の真面目な本を出していた中堅出版社で、業績不振の状態の頃に、現代教養文庫レーベルで FF シリーズのゲームブックを翻訳出版したところヒットし、持ち直した感があったが、衆寡敵せず、ゲームブック、第一次 TRPG ブームの終焉とともに廃業した。

ゲームブックと共に生き、共に死んだ会社として、印象深い。スティーブ・ジャクソン、イアン・リビングストン「火吹山の魔法使い」を文庫本という廉価な形態で邦訳出版した功績は計り知れない。

白を基調とした、どこことなく上品な装幀、経営的には評価されなくても、ゲームブック以外にも現代教養文庫には良書がたくさんあり、古くからのゲームブックファンや本好きが忘れることはないだろう。

社会思想社が社運を賭して、スティーブ・ジャクソン繋がりでも出版した TRPG「ウォーハンマー」シリーズ第一版邦訳は文庫本形態にするため3分冊され、重ねると正六面体に近い部厚さの「レンガ本」で相当の無茶があったのが印象深い。

ジャクソン神 (じゃくそんしん)

ゲームブック界の神の一柱。技のジャクソン、力のリビングストンと並び称される存在。英米と同姓同名のジャクソンが FF シリーズを書いているのでややこしい。

リビングストンがアルチザンのなら、ジャクソン (英) は一冊毎に新基軸を盛り込む天才肌で「ソーサリー」の壮大さ、「モンスター誕生」の H.P.ラブラフト「アウトサイダー」やメアリー・シェリー「フランケンシュタイン」をゲームブック化したような着想の妙には、度肝を抜かれた。

ジャクソン (米) は「サソリ沼の迷路」の双方向迷路とマッピングが楽しい趣向が印象深い。

順読み (じゅんよみ)

初見のゲームブックにおける禁断の所業。パラグラフを普通の小説のように頭から読み進める行為。作者は困るが、挿絵が見たくて、読者は無意識でやってしまう行為である。

食料 (しょくりょう)

迷宮の奥で食べている持ち込み以外の食料の原材料が何か。深く考えると、隠しパラメータの恐怖点が増えるのでよい子は考えてはいけない。

古参はリアルでも食事の度に体力点が2ポイント回復する感覚が抜けない。大盛、つゆだくは体力点3、特盛、お新香、ごぼうサラダ付きは体力点4回復。

慈悲深い (じひぶかい)

大抵は代償としてろくでもない試練を課しがちな、サディスティックな残虐さを表す婉曲表現。

「あまねく」が付くともっと酷いことになりがち。

自分との戦い (じぶんとのたたかい)

先読み等のカンニングせずにガチンコを貫くプレイスタイルを続けること。

シルバー仮面状態 (しるばーかめんじょうたい)

旅先で路銀を使い果たし、素寒貧な状態を指す。安永航一郎「陸軍中野予備校」で魔改造された特撮ヒーロー番組「シルバー仮面」の主題歌の替歌由来の状態異常の一つ。



す

スタームモード (すたーむもーど)

普段はろくでもないのに、俗に言う「賢者モード」近似で、刹那に高潔で徳が高い勇猛な騎士のロールプレイを行い出す状態を指す言葉。

由来はマーガレット・ワイズ、トレイシー・ヒックマン「ドラゴンランス戦記」の「男の中の男」騎士スタームであることは言うまでもない。スタームと違い、急に慣れない立派なことをしたり良い奴になった場合、死亡（犬死）フラグを立ててしまうことがままあるのが世の常。

Steam (すちーむ)

FF の CRPG 版も売っている PC ゲーム販売プラットフォーム。ゲーマーには「サソリ沼」よりも恐ろしい沼。

スローベンドア (すろーべんどあ)

「ソーサリー」最大の関門。初見でノーヒントで突破できた人がいるのか謎。

せ

石像 (せきぞう)

見え見えだが、たいてい想像通りのダンジョンのオブジェ。10 フィート棒の出番。

往年のお笑い芸人のネタ的に「さわるなよ、絶対さわるなよ」と言いながら触れて、痛い目に合うのがお約束。

ゼロハンテープ補強 (せろはんてーぷほきょう)

経年後が最悪の見た目になるので、今は勧められないが、施されたゲームブックを見た瞬間、楽しく遊んでいた歳月を連想して他人のものでも、おもわずグツときてしまう本の補修方法。

そ

想像力 (そうぞうりょく)

文庫本かルールブック、サイコロ、その他にあればあるだけ楽しめる、数値化できない、あなたに求められる能力値。

た行

た

タイタン (たいたん)

某芸能事務所ではなく FF、AFF の世界名であり、創造神の名前。

たいまつ (たいまつ)

ランタンがなければ、火口箱とこれを買うように、「はじめのぼうけんしゃ」セットとしてホームセンターで売るべきアイテム。

体力点 (たいりょくてん)

体力点という響きに郷愁と 1 点の重みを感じる。よくある RPG のヒットポイントよりも、体調や負傷の度合いやスタミナ的な持久力まで含め、フィジカルの状態をより抽象化したものと言えよう。

歴戦の冒険者は経験と引き換えにあの頃と違い、加齢に従い、ぐっすり寝ようが、美味しい夕食を取ろうがキツイ運動のあとにはすぐに現体力点まで回復しないことも学んでいるものだ。無理は禁物。

代用食 (だいようしょく)

往年のゲームブックの購入動機として、コンピュータゲーム機を持たざる者にとっての正直な位置付けの一つ。

もちろん、ただそれだけじゃない魅力と独自性が優れたゲームブックにある。両方遊んでみて、分かったことであり声を大にして言っておきたい。

だが、それがいい (だが、それがいい)

ボロボロの本、殴り書きの大学ノート、手作りのミニチュア、書き込み多数の地図や冒険記録用紙、マニアの死蔵した美品より、遊び愛でられた経年したものを見て、わたしはかぶき者のように、笑顔でこう言いたい。

ダグラム状態 (だぐらむじょうたい)

ダンジョンに深入りしすぎて、戻れないあまりに、ヒーローたちが気が滅入って、シナリオに対して、ネガティブな反応を示し始めた状態を指す。高橋良輔・神田武幸監督のロボットアニメ「太陽の牙ダグラム」のあまりに重すぎる主題歌由来のステータス。

この場合何をしても真実は見えないので、小休止してコーヒーブレイクするしかない。

タンタロンの十二の難題 (たんたろんのじゅうにのなんだい)

スティーブ・ジャクソンの大型判型のパズルゲームブック。今では本を手に入れること自体が最大の難題とされる。

ち

チャクラム (ちゃくらむ)

スティーブ・ジャクソン「ソーサリー」で初見の投擲武器。元はインドの武器でロマン武器として使いたくなる魅力がある。

中二キャラ (ちゅうにきゃら)

キャラメイクは自由。だが TRPG でソロでないときは (察し) なタレントは少しだけ必須。

チャップマン司祭 (ちゃっぷまんしさい)

二人用ゲームブック「王子の対決」やアメコミヒーローもの「サイボーグを倒せ!」、宇宙もの「宇宙の暗殺者」「宇宙の連邦捜査官」等芸風の広いアンドリュー・チャップマンをガスコインと対比させたくて、なんとなく称号を付けてみました。

チャダ・ダークメイン (ちゃだ・だーくめいん)

スティーブ・ジャクソンの FF 小説「トロール牙峠戦争」の主人公。

ゲームブックの主人公って小説にするとこういう人なんだなと納得できるバイタリティとハツタリ溢れる戦士で脳筋系のヒューマンではアランシア最強の一角。

八幡国によく似た顔の渡来人「茶田暗主斎」がいると Tweet したら安田均先生に「ダークメイン」というのは闇の中心ではなく、暗髪（たてがみ）の意味と教えて頂きました。

つ

ツイッタランド (ついったらんど)

FF、AFF のみならずゲーム関連の有益な情報源だが、同時に沼への入口となる仮想的なコミュニティ的空間。ゲームブック自体が、滅んだわけではないことが実感できる愛の魔界。

通常の3倍 (つうじょうのさんばい)

赤い装備で固めたヒーローが言いがちなマイルール。

そのかわり、年下に舐められたり、女癖が悪かったり、ロリコンとマザコン、小惑星を地球に落としたくなる等弊害となる副作用がある。



て

ディレクター (でいれくたー)

AFF のゲームマスターの意味で神の如き権力者だが、その力の代償はセッション会場の設定と交渉、参加者のスケジュール調整、シナリオ作成、ゲームを進めるためヒーローをなだめすかさず調整力、後かたづけ、必要であれば会費徴収などの幹事的な役回りを地道に着実にこなすことにある。

優秀なディレクターはリアルでも勤め人として有能で、偉くなりがちでゲームに割ける時間は減っていく。優れたディレクターは勇者（ヒーロー）より世界を救う。

デットエンド (でっとえんど)

即死系はリビングストン、長く引っ張って袋小路でジワジワがジャクソンというデットエンドの違いが作家性（性格の悪さ）の違いとして面白い。

と

トイレ休憩 (といれきゅうけい)

TRPG のセッション中、誰もが進言したいが、誰かが言い出すのをひたすら耐えて待っているチキンレースの様相を呈するもの。

東京創元社 (とうきょうそうげんしゃ)

今尚健在な翻訳推理小説、翻訳 SF の老舗出版社で早川書房の永遠の宿敵。かつてゲームブックでは社会思想社と人気を二分し、「スーパーアドベンチャーゲーム」のレーベルで多数のゲームブックを出版していた。FF 関連では「ソーサリー」「ファイティング・ファンタジー」第一版がある。

国産のオリジナルやナムコのゲームをゲームブック化したものに良作が多く、赤を基調とした表紙が印象的で、残念なことに本の耐久性は文庫本形態であるがゆえに低く、今では美品が少ない点は社会思想社の本と同じ。

読書 (どくしょ)

ゲームブックで遊んでいるときに、言い張りがちな大義名分。あながち間違いではないが、「ち ちがう これはただのビタミン剤じゃ……」的な後ろめたさは拭い去れない。

読書感想文 (どくしょかんそうぶん)

学校課題の読書感想文をゲームブックで書くのは、マルボルダス以上の悪行とされる。

大体先生にはバレバレ。見逃してくれているだけなので、黒歴史にならないよう自粛をオススメする。

賭場 (とば)

図書館で TRPG を遊んでいると一度は揶揄として言われがちな言葉。セッションが白熱して盛り上がっているときは、より勘違いされやすく、司書や教師に叱責されたりする。

トロール牙峠戦争 (とろーるきばとうげせんそう)

予告から約 40 年後に翻訳されたスティーブ・ジャクソンの伝説の FF 小説。信じて待っていれば奇跡は起こるという実例。

筆者は英語は弱いのに、Amazon がない頃にペーパーバックを買おうと思い、今はなき紀伊國屋書店福岡天神本店の洋書コーナーでビビりながら探したことがある。見つかることはできなかった苦い思い出。

トラ男 (とらおとこ)

ファイティングファンタジー第一版 (文庫本) の表紙の巨大なサイコロから飛び出している謎の驚き顔虎柄モンスターのこと。

な行

な

謎スープ (なぞすーぷ)

タイタン世界に限らず RPG の宿屋で勧められても迂闊に飲んではいけないもの。

ナッグマンテの拷問の書 (なっがまんてのごうものしょ)

「ソーサリー」シリーズに登場した拷問の名手ナッグマンテの極意書。読むとそのスジのスキルが上がるらしいおとなの趣味の稀覯書。類書に団鬼六「花と蛇」。

に

二大勢力 (にだいせいりょく)

シャカイシソウシャとトウキョウソウゲンシャ。この2つの出版社は、売行きも定かではないゲームブック出版を長年続けていた。始めは海外本の翻訳が続いていたが、俺が読む出す頃には戦線が拡大し、2つの出版社に属しない200余りの出版社もゲームブックを発売し出した。俺は遊んだ。始めは良作しかないと信じて他社のも含めて小遣いの限り買っていた。だが、ブームは長引くことなく終わりが始まった。俺は疲れた。誰も彼もが疲れていた…

ぬ

沼 (ぬま)

スティーブ・ジャクソン (米) 「サソリ沼」の略称。

迂闊に買うと際限なく増えていく書籍サプリメントやアイテムを勧めてくれる同好の士がいるコミュニティのこと。

胸に秘めた合言葉は「初心者は大切にして沼にしずめねえとなあ！」なので親切は最大の陰謀である。

ね

念動力 (ねんどうりょく)

技術点、体力点、運点全てに関連したサイコロを振る際に発動される隠しパラメータ。発動する掛け声で世代や趣味が露呈するもの。

の

ノーム (のーむ)

ドワーフと区別し難いので、上品そうなヒゲオヤジはノームと覚えておくと、たいてい外れない。

飲み物 (のみもの)

読書やセッションの際に用意しておく、水分補給のための飲み物。夢中になっていると飲み忘れることが多い。アルコール飲料は場が荒れがちなので止めておいたほうがよい。

は行

は

バードマン (ばーどまん)

鳥男。藤子F不二雄「パーマン」アニメーション版の主人公の上司ヒーローではなく、「ソーサリー」の物語の原因は、こいつらがそこのいるせいじゃね的な人騒がせな種族。

レベルが上がるとヴァルタン、鳥貴族へとアップグレードしていくが、物忘れも激しくなるらしい。

背囊 (はいのう)

リュックやザックと書くより、背囊と書く方が雰囲気が出るもの。インベントリのアイテム収納数が増えるのはどんなゲームでも強くなったり、体力が増えるのと同じぐらい嬉しい。

イージーモードとして無限収納可能とするとリアルさに欠ける弊害もあるが、ハクスラの快樂のため目を瞑るべき事柄。

八幡国 (はちまんこく)

ジェイミー・トムソン、マーク・スミス「サムライの剣」の舞台で海外から見た典型的な和の国。クールの陰阻な山脈で隔てられたエリアに位置しているため鎖国により独自の尚武な文化を形成している。

代々伝わる「鏢鳴りの太刀」のカリスマバフの能力で將軍長谷川喜平が統治している。池波正太郎「鬼平犯科帳」が由来と思しいが、漢字表記では市役所の偉いさんのよう。元首が誰なのか明確にするのは大人の事情が絡みそうな国。

タイタン世界では八幡国出身者は、地理条件的に国外には少数しかいないはずだが、AFF では未知の剣技を使う見慣れぬ鎧の戦士がヒーローにいるのはお約束。

「誉れは内海の浜で死にました」場合はサムライとしてダークな行為を成しても名誉点は減らないが、心の扶持米は減らされるので注意されたい。



パラグラフ (ぱらぐらふ)

ゲームブックの項の区切り。一つの形式として、FFシリーズでは、400が標準的なパラグラフ数。

かつて国産ではFFシリーズではないが一冊で1000パラグラフ数のものがあった。パラグラフ数やシステムの複雑さを競うゲームブック大艦巨砲主義は、迷宮が薄味で複雑化するだけでマニアしか喜ばないため行き詰まった。限定されたパラグラフ内に如何に濃密に体験を収めるか、CRPGの簡易版やTRPGのソロアドベンチャーに止まらない、文芸性とゲーム性の調和あるいは破格した独自のものに進化していき、現在に至るというのが筆者の思いである。

ジェイミー・トムソン、マーク・スミス「サムライの剣」には特別な意味のパラグラフ番号があり、FFではない他シリーズは、ミーム化したパラグラフ番号が存在する。

パラフィン紙 (ぱらふいんし)

パラフィン紙のカバーがあると、保存状態が大いに違うので、持ち主のゲームブックへの愛情が伝わってくるが、読む際は外さないとクシャクシャになりそうで、逆に気が引けてしまうもの。

グラシン紙と混同されがちだが、狭義ではグラシン紙に更にパラフィンワックス(蠟)を含浸させ、更なる耐水性と光沢を追加したものがパラフィン紙という理解でよいようだ。

バルサスの要塞の表紙のやつ (ばるさすのようさいのひょうしのやつ)

スティーブ・ジャクソン「バルサスの要塞」表紙の猫顔モンスターは何者?という問いは未だ解決していない。

半エルフ (はんえるふ)

いまだとコンプライアンス的に許されるのかとザワザワするハーフエルフの訳語。同様な言葉に黒エルフ、森エルフ、海エルフ、美少女エルフがあるが、別の意味でソワソワするのが若人の証拠かもしれない。

ひ

ヒーロー (ひーろー)

AFF のプレイヤーの意味だが、FF シリーズを散々を遊んできた古参だと、今までの所行を鑑み、なんか色々ムズムズする呼称。

必殺技 (ひっさつわざ)

言う分には自己満足で構わないが、バランスブレイカーな威力等、俺ジナルルールをヒーローから頑なに主張されるとディレクターがひたすら当惑するもの。個性の演出はゲームバランスを考えて出禁にならない程度にした方が人生において大切なものを失わずに済むと思う。同様な例に先祖代々から伝わるレアアイテムや他ゲームブックからの持ち込みがある。

美品 (びひん)

ゲームブックが繰り返し読まれる、謎解きがありメモを書かれがち、児童も読むという性質上、近年、美品に近いものが出品されることは稀。マニアが食いつきやすいのは、美品の上で、初版帯付き、冒険記録用紙未記入、出版社折込月報、広告付きなど、更に稀少度が増したものの。

火吹山 (ひふきやま) (ひふきさん)(ひふきざん)(ひふきマウンテン) and more...

スティーブ・ジャクソン、イアン・リビングストン「火吹山の魔法使い」の舞台。始まりの地。アランシアの観光名所と言われている。火吹山饅頭と火吹山ペナント、ドワーフの職人手彫りの木製ブロードソードがお土産で有名。

読み方で Cthulhu 程ではないがプチ論争が起こりがちなので注意されたい。



ふ

ファンブル (ふあんぶる)

運試しで、サドンデス以外では、起きたときにプレイヤーの胆力を問われる局面。願わくは、いかなる時でも銀河万丈ばりの低音ボイスで「必然たり得ない偶然はない」「死ぬこと以外はかすり傷」と嘯くだけの心の余裕がヒーローにはほしい。

ファファードとグレイマウザー (ふあふあーどとぐれいまうざー)

フリッツ・ライバーの生み出した限りなく盗賊に近い剣士二人、偉丈夫ファファードと魔法も使える小柄で狡知なグレイマウザーの凸凹バディ。退廃の都市ランクマーや二人に協力しながら利用する高位魔法使い達等、その後の RPG に与えた背景設定の影響度は二大メジャーのコナンとエルリックに負けないものがあるオススメのヒロイックファンタジイ作品。

フィルムコート (ふいるむこーと)

本の通販サイトによっては有償で行ってくれる図書館の書籍のように表紙にコーティングを施してくれるサービス。

猛者は、ゲームブックや TRPG ルールブック、サプリメント等の酷使しがちな書籍を複数部購入し、閲覧用として一部はフィルムコートすることを必須の嗜みとしているらしい。

フォーガ神 (ふおーがしん)

書くことがないので、「クーガ神」の項を参照

プレ値 (ふれね)

プレミアム価格の略。撲滅すべき忌まわしき混沌の所業。横並びでネット価格を釣り上げる転売屋や悪徳商人に対しては、屍食鬼に喰われちまえと悪態をついて、舌打ちするのがマナー。

へ

便所 (べんじょ)

便所がリアルに作り込まれた RPG は良ゲーという格言が海外 CRPG にはあるが、ゲームブックにも当てはまる気がする。

ほ

方眼紙 (ほうがんし)

学校の授業の余りを最初は使う。しかし、すぐに方眼紙ノートを買う羽目になる。

冒険記録用紙 (ぼうけんきろくようし)

大掃除の際に自分のものを発掘すると若気の至りマックスでひたすら恥ずかしいが、古書でゲームブックを買ったときに前の持主が書き込んだものが残っていると、しばし眺めてニヤニヤしてしまうもの。

コンビニエンスストアが普及する前はコピーを取るのが大変で高かった記憶を呼び起こされるもの。

冒険者 (ぼうけんしゃ)

迷宮や要塞を荒らす盗賊の別称。最終的には石の中にいたり、灰になるので自業自得と言える。

ポーション (ぽーしょん)

毒々しい見かけのものはそのまま毒薬。

イエローポーションはビール、ホワイトポーションはマッコリ、ブルーポーションは青年期はエナジードリンク、中年期は栄養ドリンク、壮年期以降は青汁であることが多い。

ポートブラックサンド (ぽーとぶらっくさんど)

イアン・リビングストン「盗賊都市」の舞台で、カーレと並ぶ、アランシアーの悪徳の街。ワルそうなやつはだいたい友達な港町。

干し肉 (ほしにく)

冒険者に映える食物一位。

ナイフで削った干し肉に、フラスクに入れた火酒が正しい辺境の無頼な冒険者の晩酌スタイル。

ホブゴブリン (ほぶごぶりん)

タイタン世界ではオークとゴブリンのハーフという誰得な不憫さのある種族。

ホブと略すとホビットではなく、こちらを連想するのは私だけではないはず。

ま行

ま

マイルール (まいるーる)

ゲームブックを一作終えたら、シナリオ上関連がなくても次作を同一主人公と見なし、技術点+1とか、リーブラの加護で選択肢やり直しを3回までOKとか、自キャラはライフ3つでコンテニューで続けてOK等などアナログゆえのルールは遊びの手の数だけある。チートではなく、なるべく愉しむためのハウスルールの創意と呼びたい。

魔王子 (まおうじ)

少年少女漫画なら、妖艶な美形のお兄さんの的なキャラクターになりそうだが、タイタン世界は甘くない。永井豪「デビルマン」に出てきそうな異形の悪魔で、藤子不二雄A「怪物くん」ほど愛らしくない怪物ランドのプリンスだったりする。

間尺に合わんよ (ましゃくにあわんよ)

富野由悠季監督のロボットアニメ「伝説巨神イデオン」のセリフから。苦労が多いわりに得るものが少ないセッションに対してヒーロー側が呟いたり、言うことを聞かないヒーローたちにディレクターが徒労感を感じて告げる言葉。

マスタースクリーン (ますたーすくりん)

ディレクターが判定のため振る手元のサイコロを隠したり、凶表を早見するための衝立。かつてはお金持ちのディレクターの象徴で、藤子F不二雄「ドラえもん」のスネ夫的な羨望のアイテム。

豆人 (まめびと)

浅羽英子訳の一つ。スティーブ・ジャクソン「ソーサリー」に登場する妖精のような超小柄な種族、ミニマイトの和訳。違和感よりも小さくて、あのうざい感じがきっちり感じられて味わい深い。

マッピング (まっぴんぐ)

人によっては苦痛だが、愉しめる人にとってはずっと続けられる解析行為。

筆者のように方向音痴なのにマッピングを怠る輩は、痛い目に合うのは、リアルでも、ゲームでも同じ。

マンティコア (まんていこあ)

スティーブ・ジャクソン「ソーサリー」の表紙で有名なキメラタイプのボスモンスター。

苦い薬を水無しで飲んだり、満員電車で腹痛に襲われるとあなたもマンティコアライクな渋い顔になれる。

マンパンの大魔王 (まんぱんのだいまおう)

スティーブ・ジャクソン「ソーサリー」の大ボスだがアンパンと間違われやすく、道中の難易度とキャラクターが立った登場人物たちに押され、4部作のボスとして影の薄い印象がある不遇な人。

み

未刊行分 (みかんこうぶん)

34 作目以降の FF シリーズの翻訳がボックスセット売りとはいえ、40 年後に発売されたことに狂喜したベテランの冒険者は多い。

他シリーズも含め、幻のゲームブックについて語りだすと長くなるので自粛しておく。

記憶の小径にある書店に入ってしまうと入手できるかもしれないが、手に取ったまま、この世に戻れるかはアナタ次第。

緑のギザギザ (みどりのぎざぎざ)

脊髄反射的に FF シリーズの新刊といまだに思ってしまう本の表紙の意匠。

む

無口 (むくち)

TRPG のプレイヤーとしては致命的な問題だがゲームブックのヒーローとしては最適なハードボイルドな性格。

め

目眩まし (めくらまし)

セッション中に喰らったときには宮崎駿「天空の城ラピュタ」のムスカ大佐のように大仰な動作で「目が、目があ〜!」と叫ぶのが大人の嗜み。



も

萌え化 (もえか)

商売って厳しいなあと思わせる原作改変の手法。ネタとしてやり過ぎるのが紳士淑女のマナー。

本国のサー・リビングストン御大が「聞いてないよお」状態で快くおもっていないことが判明してからはイジるのも微妙な扱いになり、セールス的にも伸びなかったのか、このアレンジによる刊行は結局長続きはしなかった。

別にオリジナルやそれ系、魔改造レベルの徹底的な翻案なら萌え化は大いに結構で、本邦の戯作における歴史的な得意技だと思うが、商業出版で中途半端なトッピングは合わねえんじゃね、というのが個人的見解。

物乞い (ものごい)

ゲームブックではそういう方に親切にすると実は賢者であったり、ギルドを形成し他の物乞いとネットワークを持つ侮れない裏社会の事情通の場合があり、良いことがあるかもしれない。

リアルでは行き倒れの大会社社長やお忍びのアラブの石油王が滅多にいないように陰徳を積む以外のメリットはない。

や行

や

ヤケ (やけ)

紙の経年劣化。ゲームブック自体の歴戦の証。

やつし (やつし)

宝箱に偽装したりするモンスター、ミミックの訳語。けっこう強かったりしてシンプルな罠より、自分の欲深さに比例して怒りゲージが高まる。

ヤズトロモの家 (やずとろものいえ)

イアン・リビングストン「運命の森」に初登場した魔法使いヤズトロモのアイテムと書籍で一杯の特徴的なポツンと一軒家。

マーク・トゥエイン原作のアニメーション「トムソーヤの冒険」に出てくるハックの家や某ゲゲゲの人の家と並ぶ、男が一度は憧れる世田谷ベース的な邸宅。

ヤスダ神 (やすだしん)

八幡国の善良な子どもたちを多数、趣味の沼に誘ったタイタン世界のハーメルンの笛吹で、秘密結社エスエヌイーを主催し暗躍する謎掛け盗賊ことロガーンの顕現の一つとも言われる、遊戯を司る偉大なる存在。

宿屋の主人 (やどやのしゅじん)

たいていは何かの薬物を盛ってくる。油断のならない、暗い過去を秘めがちな存在。

ゆ

指セーブ (ゆびせーブ)

通常、5 スロット。達人になると 20 スロットまで行く。今なら普通にポストイットを貼る方が楽なアナログなチート方法。

よ

妖怪 (ようかい)

社会思想社版スティーブ・ジャクソン「バルサスの要塞」のモンスター表記。訳語が統一されていない黎明期の味わいがここにある。

酔っ払い (よっぱらい)

ゲームブックでは根気よく耳を傾ければ貴重なヒントとなる情報をもたらすことがあるが、リアルではゲスな腹立たしいことしか言わなかったり同じことを繰り返すので即、ZAP で黒焦げにしたくなる存在。

よそのの (よそのの)

良民は旅をしないという言葉の意味を教えてくれる呼びかけ。冒険者とは、滞在するだけで村人に疎まれ、ことがあれば問答無用で殺されかねないアウトローと同じような立場であるという前提が海外ファンタジィの旅のリアル。

ら行

ら

ランタン (らんたん)

たいまつで凌いで、お金をためて、これと油を買うのが冒険者検定 2 級昇格の条件。

り

リーブラの加護 (リーぶらのかご)

回数限定公式チート。

ガチャで回数増加はない。しかし、女神だけに機嫌を損ねるとソッポを向かれて無効になるらしい。

リビングストーン神 (リビングストーンしん)

今なおゲーム業界で現役のゲームブック界の神の一柱。

技のスティーブ、力のリビングストーンと称せられる剛腕パワータイプだが、時々ムラっ気を感じてしまう神。

る

ルールブック (るーるぶっく)

読み物としても面白いが、活用しなければ高価に感じられ、遊びまくと安価に思える不思議な書物。短縮してルルブ。PDF 版も今は準備されていることが多い。

CRPG でいう仕様書、エンジン部分のソースコードだと思えば 5000 円超えでも決して高くないもの。

ルビ(るび)

ちゃんと読者層を理解して漢字には総ルビだった時代のゲームブックの編集者には頭が下がる思いがする。お子様は、こういうシュミの本で難しい漢字や語彙を覚えたりするもの。

れ

レンバス(れんばす)

E・R・トールキン「指輪物語」のエルフの魔法の食料。セッション中食べるのはレンバスと言いながら、おばあちゃん家にあるような株式会社ブルボンのお菓子だったりする。

ろ

ロンウェー公爵(ろんうゑーこうしゃく)

名作SRPG「タクティクスオウガ」の3大勢力のうちの主人公が属するウォルスタ陣営の指導者。「ウォルスタの虎」の異名を持つ傑物。

シナリオに登場する、ヒーローたちの最初はよき理解者的なポジションの渋いオヤジだが、実は…みたいな腹黒さのある人を指す場合に使う。

ロマン武器(ろまんぶき)

性能や実用性、自分との適正に難があるが、愛着や憧れ、カッコよさで使いたくなる武器。

効率厨じゃなく、松本零士「戦場まんがシリーズ」の名台詞、「おれには、これしかないんだ！だから、これがいちばんいいんだ！！」の精神で行こう。



わ行

わ

若き日の過ち (わかひのあやまち)

机の引き出しの奥から突然出てくる A6 サイズのノートに書いた自作ゲームブックや、年表、世界観設定や、友人と遊んだセッションを元にしたリプレイ小説などの聖遺物。

黒歴史と呼ぶにはあまりに懐しく痛すぎるもの。現実逃避のあまり、「あ、地元のアイツどうしてるのかな」みたいな追憶モードへ誘われ、なんとなく手持ちのゲームブックを再読したくなる衝動に駆られるものである。過去の痛い自分も含めて自分であること忘れてはいけない。

を

を (を)

戸惑いの感嘆。懸命なる読書諸君なら、既にお気づきのことだろう。筆者は FF、AFF シリーズは、初期しか知らない浅い知識のわか野郎だということを…

ん

ンダヤク (んだやく)

しりとりにおける救世主。FF マニアしか膾炙していないマイナーな存在ため、普通は、言い出しても「？」な反応をされる。筆者は、「モンスター事典」に掲載されてるのは知ってるが初出を不勉強すぎて知らない。

ファンタジィ事典系コンテンツの締め新たなアミバみたいなお約束。というわけで、最後まで読んでいただきありがとうございました。

この作品は

「安田均・他/グループSNE」及び「グレアム・ボトリー、スティーブ・ジャクソン、イアン・リビングストン」が権利を有する『アドバンスト・ファイティング・ファンタジー第2版』の二次創作物です。